

1:出席者

加藤^a・大西^b・岡部・片山・千葉・能登・平林・合川^c・大林^c・鈴木^c・セルゲイ^c・内藤^c・吉田^c・大塚^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2:報告

- 今春着任した COE 研究員について、合川には星内元素生成シミュレーションを、セルゲイにはデータ検索システムの構築を進めてもらう。(加藤)
- 応募した科研費(データベース作成費)が採択されたとの内示があった。(加藤)
- VBL におけるデータマイニングに関する議論がスタートした。(加藤)
- D1740,D1749,D1750,D1756 のコーディングについて査読委員と検討を行ない、運営委員会に諮る内容をまとめた。(鈴木・合川)
- NACRE のコピーサーバが設置された。(大林)

3:議論

- IAEA センター長会議に提出する年次報告について
委員長案を修正の上承認した。
- コーディングの指針
 - ・ ビームイオンの電荷については論文中に C^{6+} などと明示されている場合にのみ記載することとする。
 - ・ 天頂角が負値をとっている、本来整数値をとるはずの値がそうでない、本来取るべき値と違う値になっている、など得られた数値読取に明らかな問題がある場合は、マージ後にコーディング者が修正する。
 - ・ ある観測された量とそれを積分した量が示されている時は内挿を理論とはみなさない立場から積分量も合わせてコーディングすることを認める。
- EXFOR に変換できなかったデータ
NOSUBENT 扱いのものが変換結果に混じる時に、変換できなかった理由を何らかの形で変換されたファイルの中に記載することを検討をする。

4:次回

2002年6月24日 17:30 より